

六会地区 防災リーダーニュース

☆☆ 11月6日（日曜日）☆☆

六会地区 **総合防災訓練** が開催されます!!

災害は、いつ・どこで・どのように おこるかわかりません。
災害時に冷静かつ迅速に行動するためには、日ごろの訓練が大切です。
家族で、地域で、ぜひ防災訓練に参加しましょう!!

時間： 8：30～9：45 各地区非難誘導訓練
(各地区の集合時間や集合場所は、別に回覧される案内をご覧ください)
9：50～ 各種訓練
会場： 藤沢市消防防災訓練センター（旧六会市民センター仮庁舎跡の隣）



左の写真は平成27年度の開会式の様子です。
当日は1,005人の方が参加し、様々な訓練を体験しました。
今年度も、昨年度と同様の訓練内容で実施されます。今年は、昨年と異なる訓練に参加して、災害に備えましょう!!
初めての方も大歓迎です!!
六会地区の防災意識をより一層高めるためにも、大勢の方々の参加をお願いします。



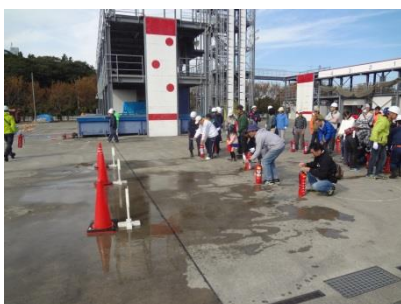
応急救護訓練



炊き出し訓練



水防訓練



消火器訓練



起震車体験訓練



藤沢市長との意見交換会開催!!

～災害時の自助(7日間の各々の準備対応)と
被災者への物資輸送～

9月11日(日)に六会市民センターにて、市長との意見交換会が実施されました。当日は、38名の方が参加し、『災害時の自助(7日間の各々の準備対応)と被災者への物資輸送』をテーマに、色々な意見が交換されました。まず、藤沢市より各自が自助として7日間の備蓄準備をお願いしたいとの話がありました。また、備蓄用非常食の備蓄数が、東日本大震災を受け6万9千食から23万食に変更になり、現在備蓄数を増加させている最中であることが報告され、藤沢市の防災対策の現状を知る良い機会となりました。

意見交換会(一部を抜粋しました)

○避難所の開設・運営はどうやって実施されることになっているのか?

→避難した人が、主体的に開設・運営に当たることになっている。

○物資輸送の運営はどのように実施されるのか?

→市の対応だけでなく、提携している民間の輸送業者を活用する体制となっている。

○飲料水の備蓄はどうなっているのか?

→飲料水は消費期限が短く更新が困難なため備蓄は無い。その代わりに避難所となる学校の耐震化されたプールの水を浄化して飲料水とする。また、市内14箇所に設置された耐震制飲料用貯水槽(100t水槽)を利用することになる。



防災リーダー交流会開催!!

上記意見交換会に引き続き、各自治会の防災リーダーを対象として交流会が開催されました。六会地区防災リーダー連絡会の役員と、各自治会の防災リーダー19名の間で防災リーダーの役割、日ごろ実施している防災活動等について話し合いを行いました。

交流会内容(一部を抜粋しました)

○防災リーダーは、各避難所にある備品非常食の場所を認識する必要がある。また、各避難所の防災練習に参加する必要がある。

○日中に災害が発生したことを想定すると、自由がきく小中高校生を、活用して行くことを考える必要がある。

○単年度で防災リーダーが変わる自治会があり、防災リーダーの役割を迅速に引き継げる体制が必要だ。

○避難所での自治会に属していない人への対応として、避難者名簿が迅速に作れるか心配だ。



<担当自治(町内)会：大神、近藤山、Jタウン、天神町>